

厚生労働科学研究費補助金  
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)  
分担研究報告書

Value-based medicine の推進に向けた循環器病の疾患管理システムの構築に関する研究

研究分担者 吉田 俊子 聖路加国際大学 看護学研究科・教授

研究要旨

関連学会訓練施設等を対象とした脳卒中・心不全患者の慢性期以後の多職種による多面的疾病管理の実態調査における心不全患者の介護と医療に関する多職種連携に関する施設調査項目を設定した。

A. 研究目的

脳卒中・心不全患者の慢性期以後の多職種による多面的疾病管理の実態を明らかにするための調査項目の設定を行う。

B. 研究方法

研究会議での審議、論文検討により、脳卒中・心不全患者の慢性期以後の多職種による多面的疾病管理の実態調査における心不全患者の介護と医療の連携調査項目の検討を行った。また調査対象の設定について協議を行った。

(倫理面への配慮)

代表機関にて承認済

C. 研究結果

ケアマネージャー・訪問看護師・かかりつけ医を対象とする医療・介護連携の質問紙項目を職種、資格、設置主体、事業形態、医療連携の課題、調整、相談内容、必要な介護サービス等を設定した。

訪問看護事業者・訪問サービス提供者を対象とした設定を検討した。

D. 考察

心不全患者の多くは高齢者が占めており、併存疾患も多い現状がある。心不全患者では、病態の複雑さから、介護者は情報の判断や変化をとらえることが難しく、病態や投薬・水分・栄養・運動管理の複雑さから、症状コントロールを併行させながらの介護が困難な状況にある。在宅側の医療・介護者からの相談等に応えられるような病院等の支援体制を整えていくことが重要であり、今回の調査は、医療と介護のこの解決にむけた重要な位置づけになると考える。

E. 結論

脳卒中・心不全患者の急性期の予後予測、慢性期以後の多職種による多面的疾病管理の実態に関する施設調査項目の中で心不全患者の医療・介護連携にかかる質問項目の設定、ならびに調査対象の検討を実施した。